

## 第4 基本方針と重点的な取組

### 1 幼稚園・保育所の教育内容の充実

#### 基本方針（1） 生きる力の基礎を培う教育の充実

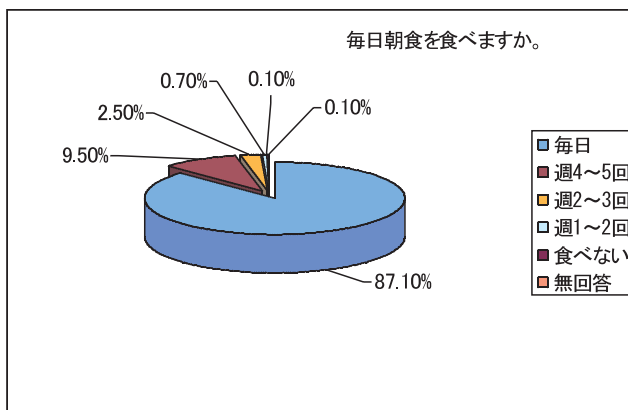
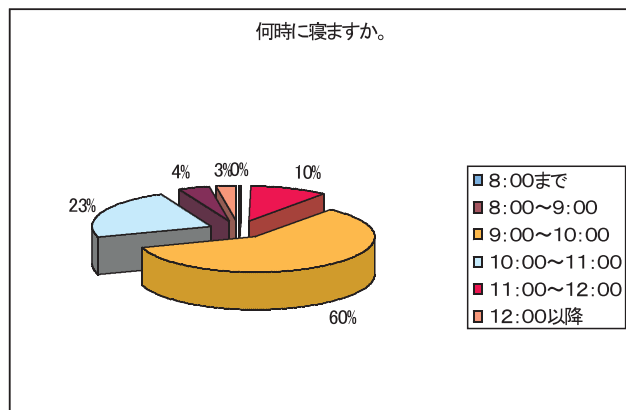
##### 【基本的な考え方】

幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づいて、幼児期にふさわしい遊びや生活を充実させ、バランスのとれた心とからだの育成が望まれます。生涯にわたる人間形成の基礎が培われる重要な時期である幼児期において育てておくべきものを見失わないように、幼児教育を推進していくことが重要です。

幼児教育が担う「生きる力の基礎」とは、「興味や関心をもって物事に進んで取り組む力」「自分や周りの人々を好きになる力」「たくましく生きるための健康や体力」であると考えます。

こうした「生きる力の基礎を培う」ためには、まず、幼児と幼稚園教員・保育士の信頼関係のもとで、幼児が自分の思いを十分に表現できるように教育内容を充実することが何より大切です。

また、幼児の豊かな体験活動を促す施設や環境の整備、充実に努めることも必要です。



「鳥取県栄養士会調査」より<3歳～5歳児を対象>  
(平成16年1月～2月)

「倉吉市保育協議会給食部会調査」より<2歳児以上の保護者を対象>  
(平成12年12月)

※大人の生活に合わせ、子どもも夜型の生活になっている状況がうかがえます。子どもの生活リズムを整え、早く就寝させる必要があります。

※朝食をとらない幼児もいる状況がうかがえます。朝食をとることが1日の始まりです。毎日の規則正しい食生活を習慣化する必要があります。

#### 重点的な取組

##### ①健康な心とからだを育む活動の充実

- 基本的な生活習慣の定着
  - ・幼児の発達の課題と個に応じた目標の設定
  - ・朝食をとること、あいさつ、箸の持ち方など、家庭と連携し取り組む子どもの生活リズム・基本的な生活習慣の育成
- 戸外でからだを動かす活動の充実
  - ・地域の自然環境を活かした遊びの充実
  - ・戸外での遊びの意欲を高める工夫や施設・環境の充実

##### ②人とかかわる力を育む活動の充実

- さまざまな人とかかわる活動の充実
  - ・近所の人、働く人など地域の人たちとの交流
  - ・異年齢の幼児、小・中・高校生、高齢者、外国の人などとの交流

- ・地域の盲学校、聾学校、養護学校などとの交流
- ・愛情や信頼感、自己肯定感を育む活動の工夫

○道徳性の芽生えを培う活動の充実

- ・年齢に応じて集団遊びなどによる人とのかかわり合いを経験させる活動の工夫
- ・遊びをとおした、善悪の判断や友だちへの思いやりの心の育成

### ③豊かな感性や知的好奇心を育む活動の充実

○心を動かす体験の充実

- ・砂や紙など身近な素材に親しみ工夫して遊ぶ場の設定
- ・ふるさとの自然・文化・芸術と触れ合う体験の充実
- ・言葉やからだなどで自分なりの思いを表現できる活動の充実

○生命を尊んだり慈しんだりする体験の充実

- ・飼育栽培などによる動植物を愛する体験の充実
- ・身近な動植物の誕生や死など、生命の尊さに触れる体験の充実

○興味関心を高める環境の充実

- ・飼育小屋、花壇など動植物への関心を高める施設環境の充実
- ・数量、文字などへの興味関心を高める遊びの工夫

### ④豊かな言葉を育む活動の充実

○絵本や童謡などに親しむ活動の充実

- ・地域に伝わる民話・わらべうた・伝承遊び、童謡唱歌などを取り入れた活動の工夫
- ・絵本や紙芝居の「読み聞かせ」の充実
- ・「絵本コーナー」など絵本への興味を高める環境づくり
- ・テレビ・ビデオ等の効果的な利用
- ・公共図書館を活用した活動の充実

○話す・聞く態度の育成

- ・自分なりの言葉で表現する力の育成
- ・友達や大人など他の人の話をしっかり聞く態度の育成
- ・幼児を引きつけるような話し方や内容の工夫
- ・降園前の時間を利用するなど日常的に「聞く力」や「聞く態度」を育成する機会の工夫



近くの加茂新川の河原で探検遊びをしました。園内では経験できない自然と触れ合う遊びを十分に楽しめます。  
(米子市・米子幼稚園)



楽しい雰囲気の中で、好き嫌いなく食べることの大切さ、箸の持ち方、調理して下さる方への感謝の気持ちを学びます。  
(米子市・米子みどり幼稚園)



▲小学校のスキー場で、小学生と一緒に雪遊びを楽しみます。雪深い地域の特色を活かして、冬の遊びを十分に体験します。  
 (日南町立阿毘縁幼稚園・山上幼稚園・大宮幼稚園)

▲地域の方からいただいた特産物のらっきょうを漬けます。自分たちで漬けたらっきょうは、最高の味がします。  
 (福部村立福部幼稚園)



▲地域のおじいさん、おばあさんに花植えを教わりました。秋には一緒に「ぼて茶」をいただく機会をもつなど、地域の人たちとの交流を大切にしています。  
 (倉吉市立高城保育園)

▲近所にお住まいの陶芸家を招いて一人一人が自分用のお茶会の茶碗を作りました。本格的な陶芸品づくりを通して地域の文化にも触れる活動です。  
 (倉吉市・向山保育園)





▲ 幼児の作品を活かし、幼児の表現する喜びや意欲を高める掲示を工夫しています。

(境港市立余子幼稚園)

▲ 幼児の手が届きやすい本棚の高さになっています。また、ゆったりと絵本を開いて見られるようなスペースも工夫されています。

(米子市・あけぼの幼稚園)



▲ 今月の歌として、毎日童謡唱歌を歌っています。大きな挿絵を見ながら、曲のイメージを広げたり歌詞の意味に気づいたりしていきます。

(東伯町立八橋幼稚園)

▲ 一日の活動を締めくくる「集い」の時間に、手遊びや歌遊びを取り入れ、みんなで楽しい時間を過ごします。日々の遊びが深まり、友達同士のつながりが生まれています。

(鳥取大学附属幼稚園)



## 【基本的な考え方】

障害などにより支援や配慮が必要な幼児とその保護者などに対して、乳幼児期から教育・医療・保健・福祉などが一体となって支援を行うことが重要であり、そのための一貫した相談・支援体制を整備することが必要です。

支援や配慮が必要な幼児に対して、小学校などにおける教育的な支援の取組につながるように、幼稚園や保育所においても、特別支援教育に関する園内研修など幼稚園教員・保育士の研修を充実させ、適切な教育をしていくことが望まれます。

さらには、集団生活における様子などから、発達面で配慮を要すると考えられる幼児やその保護者への支援が求められています。

また、保育者が「どの子もかけがえのない存在である」という認識をもって幼児に接することが、互いに友達として認め合うような幼児の集団づくりにつながると考えます。

## 重点的な取組

## ①特別支援教育の充実

- ・幼稚園教員・保育士の専門性を高める研修の充実
- ・ADHDなどにより支援や配慮が必要な幼児の状況に応じた個別の指導計画による指導の充実
- ・その他の個別の配慮が必要な幼児への支援の充実

## ②幼児と保護者の支援体制の充実

- ・園全体で取り組む支援体制の充実
- ・地域における乳幼児期からの相談窓口の明確化
- ・教育・医療・保健・福祉などの関係者で構成する、乳幼児期からの相談・支援体制づくり
- ・適切な支援の充実を図るための小学校との連携推進



◀ 障害などにより支援や配慮が必要な幼児の状況に応じて、その子に合った教材や遊びのコーナーを工夫しています。（河原町立河原幼稚園）

障害などにより支援や配慮が必要な幼児の状況に ▶ 応じて個別指導ができる保育室を整備し、専任の教員が指導にあたっています。

（鳥取市・鳥取第二幼稚園）





障害などにより支援や配慮が必要な幼児・児童の個別指導などが行われています。幼児、児童の発達に関わる医療、保健、福祉、教育の各専門機関と保護者との間をコーディネートしながら支援をしています。

(境港市・児童発達支援センター陽なた)

## 【基本的な考え方】

豊かな教育環境をつくり幼児の体験の幅を広げるためには、恵まれた自然・文化などの地域資源を活用したり、地域の人々などと交流をしたりすることが必要です。

幼児との交流は、中学生・高校生にとっても、年下の子どもと接する楽しさを実感し、親の役割や男女の協力による子育て等について考える機会などにもなります。また、地域の高齢者などと交流することで、幼児は、地域の文化や智恵に触れ、地域のよさを感じることができます。

教育活動のより一層の充実に向けた取組を進めるためには、地域の信頼を得ながら、幼稚園・保育所の教育活動やその成果などを積極的に情報発信するとともに、外部からの意見や評価を教育活動などに反映させていくことが必要です。

さらには、幼稚園・保育所の教育活動などを通じて、地域の人々に幼児教育の重要性を理解してもらうことや地域の子育て支援の力となる人材の育成を図ることも、これからの幼稚園・保育所に求められている役割です。

地域の人々が、幼稚園・保育所あるいは幼児に関心を持ち、かかわっていくことは、地域と幼稚園・保育所との結びつきを強め、地域全体で幼児教育の取組を活性化することにつながります。

## 重点的な取組

## ①地域資源の積極的な活用

- ・ふるさとの山、河川などの自然の中での体験活動、民話、わらべうた、各種行事など伝統文化と触れ合う体験活動の充実
- ・公園・図書館・スポーツ施設などの積極的な活用促進

## ②異年齢・異世代交流の推進

- ・各市町村における幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校の連携の推進
- ・伝承遊びなどをおとした高齢者との交流や老人福祉施設などへの訪問による交流の促進
- ・中学生・高校生の保育体験の推進

## ③地域人材の協力体制づくりの推進

- ・地域人材バンクの整備と情報の共有化
- ・地域の人々を研修会、講演会などにおける指導者として活用
- ・地域の人々を園内の施設環境整備などにボランティアとして活用
- ・高齢者など育児経験者を地域の子育て相談役として活用
- ・若い世代を幼児に関わるボランティア活動を通して育成

## ④教育活動などの情報発信と外部評価の活用

- ・ホームページなどによる地域に向けた教育活動やその成果などの情報発信
- ・地域に向けた公開保育の実施
- ・幼稚園教員・保育士の地域行事などへの参加の促進
- ・自己点検・自己評価及び外部評価を活用した教育活動の改善

## 公立幼稚園の自己評価・外部評価実施状況

	県	全国
自己評価	2園（10.0%）	3,431園（61.8%）
外部評価	4園（20.0%）	882園（15.9%）

「文部科学省公立学校評議員制度設置状況調査」より（平成15年7月）



▲ 幼稚園のすぐそばを流れる河内川は、自然のプールです。ふるさとの自然の中で、心もからだも解放して思い切り遊びを楽しみました。  
(鹿野町立小鷲河幼稚園)

▲ 地域の方に作っていただいたふるさとの伝統工芸品「和傘」を使って踊ります。ふるさとの文化を身近に感じることができます。  
(淀江町立淀江幼稚園)



▲ 町内の小学校の図書館で、司書の方に絵本の読み聞かせをしてもらいます。地域に開放した図書館を活用した取組は、たくさんの本と出会う喜びや小学生になる期待にもつながります。  
(鹿野町立鹿野幼稚園・勝谷幼稚園)

▲ 敬老会で、ダンスを披露した後、一緒に手遊びを楽しみました。おじいさんやおばあさんのやさしさに触れるとともに、喜んで迎えてくださる姿を見て、幼児にとっても役に立つ喜びを感じる体験となりました。  
(羽合町立羽合幼稚園)







▲ 中学生が1年生から3年間継続して行う交流は、お互いが名前呼び合うような関係につながり、中学生にとっても園児の成長を実感する体験になります。（大山町立所子保育所・大山中学校）

高校生が計画的・継続的に保育園を訪問して、1対1の交流をしています。園児の気持ちに寄り添うことで高校生にとっても人とかかわる学習になっています。

（東伯町立逢束保育園・赤碕高校）



▲ 地域の農村青年会議の方たちと一緒にもちつきをしました。日頃あまり接することのない世代の人々とかかわる機会になっています。

（中山町立上中山保育所）

町内のおじいさんから、竹を使った水鉄砲の作り方を学びました。地域にたくさん生えている竹を活用した活動に年間を通じて取組み、地域とつながっていきます。（北条町立北条幼稚園）

